

議題1 令和4年度教育・保育施設等の利用定員(案)について

○教育・保育給付(施設型給付・地域型保育給付)を行うに当たり、市町村は就学前の子どもの区分ごとの「利用定員」を定める必要があり、当該利用定員を定めるときは、あらかじめ地方版子ども・子育て会議等の意見を聴かなければならないとされています。(子ども・子育て支援法第31条第2項)

○本資料における「利用定員」は、千歳市子ども・子育て会議の意見を聴いた後、北海道との協議を経て決定となります。

○本資料は、外部に公開するため、利用定員の総数を取りまとめたものです。(施設ごとの定員は、確定前の運営法人の個別情報であり、公開いたしません。)

令和4年3月2日

令和3年度

第3回千歳市子ども・子育て会議

令和4年度 教育・保育施設等の利用定員(案)

(単位:人)

R4.4.1の 施設の類型	令和4年度利用定員の設定				
	3号認定		2号認定	1号認定	計
	0歳児	1歳・2歳	3歳～5歳		
①教育・保育給付 計 (②+③)	147	581	928	1,665	3,321
② 施設型給付 計	94	490	928	1,665	3,177
幼保連携型・保育所型・幼稚園型 認定こども園(18か所)	77	420	901	955	2,353
保育所(3か所)	17	70	27	-	114
幼稚園(4か所)	-	-	-	710	710
③ 地域型保育給付 計	53	91	0	0	144
小規模保育所(8か所)	53	74	-	-	127
事業所内保育所(2か所)	0	17	-	-	17
④ 給付対象外 計	26	76	82	0	184
地域型保育給付を受けない市の直営・単独補助・企業主導型等による認可外保育施設(10か所)	26	76	82	-	184
⑤総利用定員(給付対象外を含む) (①+④)	173	657	1,010	1,665	3,505

計画上の「量の見込み」 ⑥	164	686	1,008	1,656	3,514
計画上の「確保方策」 ⑦	164	686	1,008	1,690	3,548
過不足数 (⑦-⑥)	0	0	0	34	34
R4計画数値「量の見込み」と「総利用定員」との差 (⑤-⑥)	9	-29	2	9	-9

【説明】

・令和4年度の「総利用定員」の合計は3,505人となっており、計画上の「量の見込み」の合計3,514人を9人下回っています。

・合計の『R4計画数値「量の見込み」と「総利用定員」との差』について、合計で-9名になっていますが、主な減少要因としては、1・2歳の差が-29名と大きくなっています。これは、保育ニーズが限定されるへき地保育所の休所による-18名が含まれているため、実質的には-11名となります。計画上の「量の見込み」から換算すると、およそ-1.6%でほぼ計画通りに推移しています。